

用語解説（「食品の安全性に関する用語集」（食品安全委員会）より抜粋）

遺伝毒性 Genotoxicity

物質が直接的又は間接的に DNA に変化を与える性質のこと。

遺伝毒性発がん物質 Genotoxic Carcinogen

遺伝毒性発がん物質とは、当該物質又はその代謝物が DNA に直接作用することにより遺伝子突然変異又は染色体異常誘発性を示し、当該遺伝毒性に係る作用が発がん機序の一部であると考えられるものをいう。

非遺伝毒性発がん物質 Non-genotoxic Carcinogen

変異原性は示さないが、種々の作用により細胞増殖を誘発し、プロモーション作用を示すことで、発がんを引き起こす物質をいう。

確率的手法（モンテカルロ・シミュレーション法） Monte Carlo Method

本来不確実な要素を、値の範囲（確率分布）で置き換えることによって、起こり得る結果を示すモデル。具体的には、乱数表を用いてシミュレーションを繰り返すことにより近似解を求める。

パーセンタイル Percentile

いくつかの測定値を、小さいほうから順番に並べ、何パーセント目にあたるかを示す言い方。例えば、計測値として 100 個ある場合、50 パーセンタイルは小さい数字から数えて 50 番目であり、95 パーセンタイルは小さい方から数えて 95 番目である。

ADI（許容一日摂取量（一日摂取許容量）） Acceptable Daily Intake

食品の生産過程で意図的に使用する物質（食品添加物等）、又は使用した結果食品に含まれる可能性のある物質（残留農薬等）について、ヒトが一生涯にわたって毎日摂取し続けても、健康への悪影響がないと考えられる 1 日当たりの物質の摂取量のこと。体重 1kg 当たりの量で示される（mg/kg 体重/日）。

通常、毒性試験から導き出される無毒性量（NOAEL）等の POD（Point of Departure）を安全係数（SF）で除して算出する。

ARfD（急性参照用量） Acute Reference Dose

ヒトの 24 時間又はそれより短時間の経口摂取で健康に悪影響を示さないと推定される体重 1 kg 当たりの摂取量のこと。食品や飲料水を介して農薬等の化学物質のヒトへの急性影響を考慮するために設定される。

ng（ナノグラム）

重さの単位

1ng = 1,000,000,000 分の 1g（10 億分の 1g）

TDI（耐容一日摂取量） Tolerable Daily Intake

意図的に使用されていないにもかかわらず食品中に存在する物質（重金属、かび毒等）について、ヒトが一生涯にわたって毎日摂取し続けても、健康への悪影響がないと推定される一日当たりの摂取量のこと。体重 1kg 当たりの物質の摂取量で示される（mg/kg 体重/日）。